

団体名： 美浜町商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|-------------|---|---|--------|------|----------------------------|------|---------------------------|--|------|--------|--------|------|------|------|------------|---------------------------|-----|-----|--|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | ABCD評価 | | | | 今後の展開・改善点等 | | | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | | 総合評価 | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | | 補足 | 目標① | 目標② | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 経営基盤の弱い小規模等細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、金融・税務・労働等の経営全般について、様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。 | ・巡回窓口指導実企業数266社（内非会員4社） ・巡回窓口指導延件数972件（内非会員8件） ・課題解決提案件数20件 ・経営革新承認件数0件 | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 (達成度 121.5 %) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %) | 小規模事業者の良き相談相手として、企業の経営や技術の改善の支援を行い、また、各種施策の普及を図ることができた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | A | 自己評価 | A | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 A 必要性 A | 目標① | 目標② | 経営指導員を中心とした全職員体制による巡回窓口指導を強化し、引き続き事業を実施する。 | ○ |
| 記帳継続指導事業 | 個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。 | ・指導対象者数 73人 ・指導延日数 637日 ・指導延回数 773回 | 小規模事業者 | 指標 | 指導延回数 (達成度 124.5 %) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 記帳継続指導を受けた事業者が正しい記帳方法を身につけ、事業者の適正な税務申告および経理の自計化が図られた。 | 総合評価 | A | 実施評価 | A | 自己評価 | A | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 A 必要性 A | 目標① | 目標② | 正しい記帳による適正な税務申告に結び付くよう引き続き事業を実施する。電子申告の普及推進に努める。 | ○ |
| 講習会等 | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓もうを図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。 | ・講習会開催回数及び受講者数 集団 6回 18人 個別 14回 21人 計 20回 39人 | 小規模事業者 | 指標 | 開催回数(集団) (達成度 75.0 %) | 指標 | 開催回数(個別) (達成度 140.0 %) | 小規模事業者が必要とする知識や技術の習得についての講習会を開催したことで、事業者の資質の向上と円滑な事業運営につながった。 | 総合評価 | B | 実施評価 | B | 自己評価 | B | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 B 必要性 A | 目標① | 目標② | 受講対象者に応じたテーマの選定に十分注意するとともに、問題意識をもって講習会を開催する。 | ○ |
| 祭典事業 | 産業まつりを開催することにより、その集客力をいかして地域の経済活動を促進し、地域の産業を広く住民へPRするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 | 出店企業・団体数 (達成度 - %) | 指標 | 開催回数(個別) (達成度 %) | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 総合評価 | - | 実施評価 | - | 自己評価 | - | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 - 必要性 - | 目標① | 目標② | 小規模事業者が出店し、販売促進に繋げることができるよう、引き続き事業を実施する。 | ○ |
| 商店街・街づくり事業 | 地域の活性化、魅力ある地域づくりのため、花一杯運動を実施する。商店街の活性化と治安維持のため、街路灯の維持、管理を実施する。 | ・花一杯運動 延来場者数 200人 令和2年5月は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 ・街路灯維持管理 街路灯 208基 アーチ 2基 | 小規模事業者 | 指標 | 花一杯運動来場者数 (達成度 40.0 %) | 指標 | 開催回数(個別) (達成度 %) | 花の苗の配布により、地域の活性化や魅力ある地域づくりにつながった。街路灯の維持管理により、商店街の活性化や治安維持につながった。 | 総合評価 | B | 実施評価 | B | 自己評価 | C | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 B 必要性 C | 目標① | 目標② | 地域の活性化、魅力ある街づくりのために、引き続き事業を実施する。 | ○ |
| 産業活性化事業 | 受注機会の増加を図るため、増改築相談員有資格事業者による地域住民対象の無料リフォーム相談会を実施する。企業の発展、地域産業活性化のため、認定特産品や地域資源の活用、開発普及、PRを行うとともに、地産地消の推進などを行うほか、MIHAMA商工会サミットを開催し、産業振興に繋げる。 | ・無料リフォーム相談会 構成事業所数 9企業 ・特産品PR活動、MIHAMA商工会サミット 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 | 構成事業所数 (達成度 100.0 %) | 指標 | 特産品PR回数 (達成度 - %) | 無料リフォーム相談会を開催したことで、構成事業所の受注機会の増加を図ることができた。 | 総合評価 | B | 実施評価 | B | 自己評価 | B | 調査結果 | 事業者への満足度 補足 B 必要性 C | 目標① | 目標② | 構成員の受注機会の増加を図るため、引き続き事業を実施する。産業活性化のため、地域資源の活用、PRを引き続き実施する。 | ○ |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 美浜町商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | 備考 |
|------------|--|---|-----------|----------------------------------|---------------------------------|---|-----------|-------------|-----------|-----------|----------|--------------------------------|--------------|-----------------------|--|----|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | ABCD評価 | | | | 今後の展開・改善点等 | | | |
| | | | | 指標 | 達成度(%) | 指標 | 達成度(%) | | 総合評価 | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | |
| 経営強化事業 | 産（商工会会員）官（美浜町）学（日本福祉大学）の連携により情報交換・交流の場を提供し、情報を収集し、経営計画立案の一助とする。 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 交流会参加者数 (達成度 - %) | 指標 (達成度 %) | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 総合評価 - | 事業実施評価 - | 自己評価 - | 調査結果 - | 満足度 - | 補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし | 目標① 現行どおり | 目標② 実施方法① 実施方法② | 産学官連携により実り多い交流ができており、引き続き事業を実施する。 | |
| 調査・広報事業 | 小規模事業者関連の施策普及と、他商工会の事業活動の情報を定期的に提供するため合同会報を発行する。 | ・広報誌「風」発行回数4回 事業の一部が新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 広報誌発行回数 (達成度 100.0 %) | 指標 (達成度 %) | 広報誌の発行により、小規模事業者に施策を普及することができたほか、他商工会の事業活動の情報を定期的に提供することができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 B | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 実施方法① 実施方法② | 各種施策普及や情報提供に必要なため、引き続き事業を実施する。 | ○ |
| 青年部・女性部事業 | 青年部員・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。 | ・青年部・女性部事業開催回数1回 事業の一部が新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 事業開催回数 (達成度 8.3 %) | 指標 (達成度 %) | 多くの事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。活動を通じて部員間の交流が図られ、地域との関わりを持つことができ、地域社会の発展に寄与することができた。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 C | 調査結果 D | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 実施方法① 実施方法② | 部員増強に努め、組織を強化し、引き続き事業を実施する。 | |
| 部会・委員会事業 | 部会、委員会、同業種、支部事業により交流を深め、情報を収集するため、部会、支部事業を指導、運営する。 | ・部会、委員会、支部運営指導事業開催回数 4回 事業の一部が新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止 | 小規模事業者 | 指標 開催回数 (達成度 66.7 %) | 指標 (達成度 %) | 支部、委員会の運営が円滑に実施できるように指導したことで、小規模事業者が交流を深めることができた。部会事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 C | 調査結果 C | 満足度 B | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 実施方法① 実施方法② | 部会、支部、委員会の組織強化を図り、引き続き事業を実施する。 | ○ |
| 福利厚生事業 | 中小企業、小規模企業の経営・雇用の安定を図るために、各種共済制度の普及や事業主の退職金の確保、健康診断の実施により、企業の健全な育成に資することを目的とする。 | ・共済の普及及び加入促進中小企業共済加入者数 13名 ・健康診断事業開催回数 4回 受診者数 50名 | 中小・小規模事業者 | 指標 中小企業共済加入者数 (達成度 65.0 %) | 指標 健康診断受診者数 (達成度 100.0 %) | 共済制度の普及および加入促進を行い、また、健康診断事業を実施したことで、企業が福利厚生を充実させ雇用の安定化、経営の安定化につながった。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 B | 調査結果 B | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | 企業の経営安定を図るため、引き続き事業を実施する。 | |
| 雇用・労働事業 | 事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等を行うことにより、事務処理負担を軽減し、労働保険の適正な徴収を図ることを目的とする。また、求人対策事業「知多地域学生就職情報センター（るびあん）」に参画し、地元企業の採用活動をサポートする。 | ・労働保険事務組合受託事業所数 107事業所 ・就職情報誌の発行、合同会社説明会の開催参加企業数（管内企業）4社 | 中小・小規模事業者 | 指標 受託事業所数 (達成度 95.5 %) | 指標 参加企業数 (達成度 133.3 %) | 委託事業所の事務処理負担の軽減および労働保険料の適正な徴収につながり、未加入事業所への適用促進が図られた。知多地域学生就職情報センターへの参画により地元企業の採用活動を支援することができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 下げる | 目標② 現行どおり | 委託事業所の事務処理負担軽減に資するため、引き続き事業を実施する。地元企業の採用活動を支援するため、引き続き事業を実施する。 | |
| 若手後継者等育成事業 | 経験豊富な専門家による経営に必要な知識やノウハウの解説、各種課題への支援施策の情報を交えながら、経営スキルや情報を習得する。 | ・若手経営者等勉強会開催回数2回 受講者数12人 ・個別相談会開催回数1回 参加者数4人 | 小規模事業者 | 指標 受講者数 (達成度 160.0 %) | 指標 受講者満足度 (達成度 56.3 %) | 勉強会の開催により、若手経営者が経営に必要な知識を習得することができた。個別相談会の開催により、経営課題の解決を支援することができた。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 A | 調査結果 B | 満足度 B | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 実施方法① 実施方法② | 若手後継者等育成に必要なため、引き続き事業を実施する。 | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。